

執筆者紹介（掲載順）

- 風岡むつみ（本学大学院博士課程後期課程在学学生）
滝沢優子（本学大学院博士課程後期課程退学）
早川久美子（本学嘱託講師）
佐藤未央子（本学大学院博士課程後期課程在学学生）
植田彩郁（同志社中学校・高等学校嘱託講師）
植木朝子（本学教授）
神谷勝広（本学教授）
張子如（西北大学外国語学院副教授）

編集後記

『同志社国文学』第八十三号をお届けする。昨年の国文学専攻創立六十周年・国文学会設立五十周年を記念する、さまざまな行事を終えて、平常の学会活動に戻ったが、今号でも、古代文学から近代文学まで、また、日本語学や絵画との関係をテーマとした論考など、幅広い研究の成果を載せることができた。

年二回開催される研究発表会にも着目していただき、同志社大学国文学会がさらに発展を遂げるよう、ご後援を賜りたい。

なお、本誌は、編集委員を中心として、投稿論文に対して査読を行っている。場合によっては不採用もありうるが、奮ってご投稿をお願いしたい。